

IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2004年7月18日から2004年7月25日の週

目次

週間ハイライト

国際	2
韓国	2
中国	3
台湾	3
シンガポール/マレーシア/フィリピン/インドネシア	4
米国 / カナダ	4
欧州	5

この文書は情報提供を目的としており投資助言とはみなされませんし、またこの文書で言及されている会社の証券の購入や売却を推奨しているともみなされません。IRG Limited, f/k/a iReality Group Limited, 及びその関係会社はこの文書に記載されている情報の正確性や完全性についていかなる表現もいたしません。

IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2004年7月18日から2004年7月25日の週

週間ハイライト

国際

インターネット

- アジア太平洋のインターネット・セキュリティー・サービス市場は2003年から2008年迄の5年間で3倍近くのとなり24億米ドルに成長する見込み。2003年の市場規模は9億100万米ドル。
- 米国でウェブサイトの割当を国際的に管理しているICANNは世界中の誰もがインターネット・アドレスを保有できる新技術を発表。ICANNは米国商務省から業務認可を得ている。
- ハッカーによって探査を回避できるように変更された新型コンピューター・ウィルスが拡散。ペーゲルやマイドゥームの新種が発見されている。

ソフトウェア

- オラクルは新しいアジア向け低価格リナックス・ソフトウェアを推進。マイクロソフトから氏城占有率を奪おうという動き。オラクルが推進しているソフトウェアはエージアンナックスという名。

ベンチャー・キャピタル/投資

- JPモルガン・チェースは他社と共にエッグ買収に参画。エッグはブルデンシャルのインターネット・バンキング部門。エッグのクレジット・カード保有者数は250万。

韓国

インターネット

- NHNの上半期純利益は2720万米ドル。売上高は9270万米ドル。NHNは韓国第2位のインターネット・ポータルを運営している。NHNは日本でも650万の登録済利用者を保有している。
- ダウムは本社をソウルからチェジュ島に移してから3ヶ月経過したがどういう効果があるかは未だに不透明。ダウムはそのまま本社を置く意向。

メディア、娯楽、ゲーム

- 韓国の携帯電話利用者数は2008年迄に国民の81%にあたる3940万人に達する見込み。今年中には3760万人になる見込み。競争激化のため携帯電話運営各社の収益率は低下する見込み。

半導体

IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2004年7月18日から2004年7月25日の週

- **ハイニクス半導体の株主は半導体以外の業務を米国のシティグループに売却することで合意。**ハイニクスは世界第三位の半導体製造業者。売却金額は8億2200万米ドル。

通信

- **ハナロテレコムは競争が激化している国内通信業界で低価格長距離電話と国際電話を提供。**電話サービスの売上高は前年比18%増の3億2000万米ドルを見込む。固定電話回線顧客数は110万。

中国

インターネット

- **中国のインターネット利用者人口はこの1年間で28%増加し8700万人。**ブロードバンド利用者人口はこの半期で79%増加し3100万人。アナリストの予測は下回った。
- **中国熱が冷めつつあるため就職支援サイトの51ジョブは9000万米ドルの米国NASDAQでの株式新規公開を延期。**類似他社はモンスター・ワールドワイドで株価収益率は29倍。主幹事はCLSA。

ハードウェア

- **インテルと中国のファウンダー・テクノロジー・グループは技術革新及び調査研究での協力に合意。**ファウンダーはPCの製造、ネットワーキング・システムの構築をしているハイテク企業。

モバイル/無線通信

- **チャイナ・モバイルの加入者数は6月には僅か270万の増加で2ヶ月連続で成長率が鈍化。**加入者数は1億5860万。2月から4月は毎月300万以上の加入者数を記録した。
- **チャイナ・ユニコムの加入者数は6月に多少改善。**6月は加入者数が170万増加し、総数は1億250万となった。CDMA加入者は73万2000増加し、総数は2370万となった。

通信

- **通信サービスのシティック21CNはSMS(簡易メッセージ)サービスの北京HL95を買収し今年度は黒字転換する見込み。**シティック21の今年3月期の赤字額は200万米ドル。

台湾

半導体

IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2004年7月18日から2004年7月25日の週

- **AUオプトロニクスの第二四半期決算は4億3100万米ドルの純利益。**売上高は15億米ドルだった。前年同期は純利益が8530万米ドル、売上高が7億米ドルだった。LCDの売上増が貢献した。

シンガポール/マレーシア/フィリピン/インドネシア

モバイル/無線通信

- **シンガポール第二位の携帯電話運営会社であるモバイルワンの第二四半期純利益は前年同期比26.4%増の2340万米ドル。**国際電話の売上高が28.6%増加し1620万米ドルとなった。

半導体

- **チャータード・セミコンダクターの第二四半期決算は黒字転換し1530万米ドルの純利益。**前年同期は9000万米ドルの赤字だった。第三四半期の純利益は950万米ドルの見込み。

米国/カナダ

ハードウェア

- **ゲードウェイの第二四半期決算は3億3900万米ドルの赤字。**企業再編費用2億8900万米ドルを計上したのが大きな理由。売上高は前年同期比5%増の8億3800万米ドル。

IT

- **コンピューター・アソシエイツは根気の売上高及び利益予測を下方修正。**今期末は2005年3月末。会社側は7月8日に第一四半期の売上高が当初予測を下回ると発表した。

インターネット

- **フルーグル・ドット・コム名のウェブ・サイトは不適切だというグーグルの申し立てを調停委員会が棄却しグーグルがオンライン・ショッピングでフルーグル名を利用し続けられるかは疑問。**
- **イーベイの第二四半期純利益は前年の9190万米ドルから1億9040万米ドルに増加。**売上高は前年同期比52%増。通年の収益見通しは上方修正した。
- **アマゾン・ドット・コムの第二四半期決算は前年の赤字4330万米ドルから7650万米ドルの純利益に黒字転換。**売上高は前年の11億米ドルから26%増加し14億米ドルとなった。
- **スカイプ・テクノロジーのソフトウェアによりコンピューター間で無料通話が可能だが、今後はコンピューターから一般電話にかけられるサービスを開始する予定。**料金世界共通1分2セント。

IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2004年7月18日から2004年7月25日の週

メディア、娯楽、ゲーム

- エレクトロニック・アーツの決算第一四半期は純利益が前年同期比で32%増の2400万米ドル。売上高は前年同期の3億5340万米ドルから4億3160万米ドルに増加した。
- ナップスター2.0オンライン音楽サービスの背後にある会社は学生にデジタル音楽購買プログラムを提供する契約を6つの大学と締結。コーネル大学、南カリフォルニア大学等6大学。
- ハリウッドのスタジオとNHL(ナショナル・フットボール・リーグ)はデジタル・ビデオ・レコーダーのTiVoに対して番組の著作権を侵害するとして争う構え。連邦通信委員会(FCC)に提訴した。

モバイル/無線通信

- クアルコムの決算第三四半期の純利益は前年同期比で倍以上となり通年の収益予測も上方修正。クアルコムの技術を利用した携帯電話の売り上げ台数は今年1億6400万台となる見込み。
- モトローラの第二四半期決算は2億300万米ドルの赤字。昨年は1億1900万米ドルの黒字だった。フリースケール・セミコンダクタ切り離しによる特別費用を除外すると8億米ドルの黒字。

ソフトウェア

- マイクロソフトはオンライン雑誌のスレート売却について5、6社と交渉中。メディア関連の企業に売却し提携しMSNでの広告収入を増加させる狙い。
- サン・マイクロシステムズの第四四半期はマイクロソフトとの係争も解決し13四半期振りに黒字転換し純利益額は7億9500万米ドル。前年同期は10億米ドルの赤字だった。売上高は4.3%増。
- マイクロソフトの決算第四四半期は純利益が前年同期比で81%増加し27億米ドル、売上高は15%増。アナリストの予想は下回った。MSNオンライン・サービスは通年で初の黒字を計上した。

通信

- AT&Tの第二四半期純利益は前年同期比で80%減。住宅居住者の顧客獲得については競争しない旨発表した。住宅居住者の顧客はSBC等に譲る。20年前迄はAT&Tは電話サービスを独占していた。
- ベライゾン・コミュニケーションズはインターネット電話サービスの全国展開を開始。130都市でサービスを行う。

欧洲

メディア、娯楽、ゲーム

IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2004年7月18日から2004年7月25日の週

- アップル・コンピューターは欧州最大の独立系レコード会社とライセンス契約を締結。既存の 70 万楽曲に加えて各国で独立系の楽曲が聞ける。欧州では 22% の音楽家が独立系と契約している。

半導体

- ST マイクロエレクトロニクスの第二四半期純利益は前年同期比 86% 増の 1 億 4800 万米ドル。前年同期の純利益は 8000 万米ドル。売上高は 28% 増の 22 億米ドルだった。

ソフトウェア

- SAP の第二四半期純利益は前年同期比 14% 増の 3 億 500 万米ドル。前年同期は 2 億 6550 万米ドルだった。売上高は 9% 増の 22 億米ドル。米国でのソフトウェア売上高は 63% 増加した。